

平成 29年 8月 8日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 大石節雄

島田市議会議員 森 伸一

島田市議会議員 杉野直樹

島田市議会議員 平松吉祝

島田市議会議員 伊藤 孝

島田市議会議員 齊藤和人

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 29年 8月 4日（金）
午後 7時 00分～午後 8時 30分
- 2 会場 川根支所（大会議室）
- 3 参加者数 7人（男性 7人、女性 0人）
- 4 役割
 - (1) 受付 杉山主事
 - (2) 司会 伊藤 孝
 - (3) 挨拶（概要） 大石節雄
 - (4) 報告 総生委 森 伸一、 厚教委 杉野直樹、 経建委 平松吉祝
 - (5) 答弁 全 員
 - (6) 記録 齊藤和人

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務生活常任委員会 森 伸一

- ・自治基本条例について

8月の検討会、パブリックコメントを経て条文の文言はおおよそできるので11月議会で決めることになる。

- ・ふるさと寄付金について

島田市ではH28年度は5000～6000万円の収入にたいして支出が同額程度であったので寄付金は増収とはならなかった。H29年度は9000万円近くあり少し改善される見通しである。

- ・公共マネジメントについて

市内の公共施設について現在情報を整理している。

旧市民会館については、PFI（民間業者と共同で行う。例えば清水マリナート）にするのか、単独事業にするのか検討を進めている。

- ・最終処分場について

昨年まで初倉地区にあったが契約終了となり、次の用地がきまるまでは市外で処分してもらっている。

- ・平和事業について

8/15の島田市平和祈念式典では金谷高校書道部のパフォーマンスが行われる。

- ・副市長の件について

副市長が2人になった。牛尾氏（前理事）と萬屋（財務省を退職）である。

② 厚生教育常任委員会 杉野直樹

- ・認定こども園施設整備助成事業によって保育事業はどの程度改善されるのか？

新たに開設される保育部の総人数は194人で、特に待機児童の多い低年齢児は63人である。

- ・田代の郷整備事業について

掛川市の22世紀の浜公園の遊びの里エリアの実績を目標としていて、年間来訪者数を8万人と見込んでいる。遊具については市内に無いものを考えている。

- ・介護サービス事業への補助金（金谷地区）

小規模多機能施設整備事業であり全体の定員は29人である。

- ・ふじの国少子化突破戦略応援事業

県民の2～3人の子どもを持ちたいという希望をかなえるための効果的な事業を行う市町に県が助成を行うというもので実施期間は3年を予定、当市の事業に対して県から1000万円の内示がだされた。

③ 経済建設常任委員会 平松吉祝

H29年度一般会計予算

- ・ピーファイブの音楽施設事業費は 5700 万円である。
- ・大井川マラソン大会について
フルマラソンの参加費を 1000 円値上げして 7500 円になった。
- ・賑わい交流拠点整備事業は（金谷地区）現在の計画で進めていく。
- ・農業委員会の委員は 19 人、農地最適化推進委員は 14 人である。

H29 年度一般会計補正予算

・「水曜どうでしょう」のロケをローズアリーナ中心で行う。市街地のイベントと合わせて相乗効果が期待できる。予算 100 万円である。

- ・パラグライダー支援事業

資格者の報酬 320 万円、機材費 80 万円、イベント費 100 万円（合計 500 万円）

1 回のフライト料金は 12000 円である。

- ・消防団員の公務災害条件の一部を改正する。
- ・大津地区農業用水路の整備事業がおこなわれた。

④ 報告に対する質疑

- ・田代の郷整備事業で市内にないような遊具とは？

親子が来場したくなるような施設にして、しいては島田市の人口増につながるようにしたい。

(2) 意見及び情報の交換について

- ・政務活動費について

視察を行ったことの報告だけでなく、それに基づいて島田市のために何を役立たせてくれるのか、実績を示してほしい。

ネットを使える人ばかりではないので、報告会などを開いて欲しい。

- ・大井川の流量を増やすような対策を進めてほしい。

リニア新幹線のトンネル工事により流量が減るように聞いているが、対策をしてほしい。

- ・川根高校は特徴のある高校である。川根高校に協力してほしい。

川根高校の 3 年間だけでは地元のためになるか疑問だという人もいるが、留学制度を最初に進めた島根県立隠岐島前高等学校の例などを参考にして協力したい。

(3) 市等への要望事項

・島田市商工会川根支部、森林組合の跡地が 300 坪ある。それを安く提供して若い世代に利用してもらい、定住人口を増やす方法を計画してほしい。

・身成の市営住宅は 24 戸中 19 戸入居していて、5 戸住んでいない。所得が増えても家賃を上げないようにできないか？家賃事態高いのではないか。築何年か経てば民間でも家賃は下がる。

- ・行政効果について

中山間地は人口が少ない。活性化させるための施策がほしい。パブリックコメントのことをよく耳にするが、議員は選挙で選ばれたのだから議会で良く議論をし

て進めてほしい。

- ・川根支所の権限を高めてほしい

川根地区には4つの自治会があるがもっと深く関わってほしい。「本庁に相談しないとできない」と言われることが多い。地元の人々に寄り添った、支所であってほしい。

- ・茶園の荒廃が進んでいる。

栽培されていない茶園の管理が必要である。助成金で対処してほしい。茶樹を抜くのに1反歩あたり3~4万円かかる。

- ・有害鳥獣被害が増えている。
- ・森林の固定資産税が高く負担である。

6 まとめ（所見）

川根地区の問題点は、茶園の荒廃、鳥獣被害の増加、森林の維持管理の難しさ、少子高齢化などであるが、市内の他の地区でも同様の問題で苦労しているものと思われる。とりわけ、若者世代が定住したいと思えるような地区にしていくことが最も重要なことだと思う。そのためには住宅政策や、少子化対策、医療の環境整備、就労対策などが必要である。

まずは、できる事からスピード感をもって（PDCAサイクルを活用して）進めていくことが島田市には必要である。